

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023801	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(指定文化財等管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	指定文化財等管理費		予算事業コード	01-09-04-05-02-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市など)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・管理し、地域資源として活用できる状態を維持する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財を適正に保存・管理するため、清掃管理等を地域の住民にお願いする。</li> <li>・指定文化財を市民に広く周知し、啓発するため案内板・道標等を設置する。</li> <li>・市有の文化財を適正に保存・管理し活用する。</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定作業 ④第11次の定点写真観測を実施	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定作業 ④第11次の定点写真観測を実施	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定作業→事業費目を変更
年度別実績	①指定文化財の清掃管理を実施 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などを設置した。 ③第42回全国遺跡環境整備会議を開催した。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定調査を行った。 ④第11次の定点写真観測を実施した。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	7,365	7,014	6,206	6,769	5,939
	直接経費 A	3,755	3,354	2,584	3,174	2,403
	国・県	0	0	0	0	123
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9	0	14	39	18
一般財源	3,746	3,354	2,570	3,135	2,262	
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	3,536	
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	文化財案内看板等設置数	件	目標	4
	(指標の説明)		実績	1	3	4	4	2
2	歴史文化基本構想の策定	%	目標	0	10	50	90	100
	(指標の説明)		実績	0	10	40	70	95
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 1 国・県・市が所有あるいは管理する指定文化財について、文化財保護法及び市文化財保護条例に基づき、適正な管理と活用を図る。 2 案内板や道標の維持管理によって市民の文化財保護意識を醸成・向上する。</p> <p>【事業の成果】 草刈や清掃などの管理を実施し、指定文化財を適正に保存することができた。案内板や道標の維持管理によって市民の文化財保護意識を醸成・向上した。特別天然記念物コウノトリの野生復帰事業等に貢献することができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き指定文化財の適正な保護に努める。</p> <p>※その他財源の使用料は、電柱等使用料</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	25%	75%	100%	100%	50%
	2	歴史文化基本構想の策定		100%	80%	78%	95%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>コロナ禍のため歴史文化基本構想の策定に支障を来たした(委員会の開催等)</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>既存の説明板の修理4か所を予定していたが、説明板以外の緊急修理を要する案件が生じ、予算が不足したため。予定していた説明板の修理については次年度以降に先送りした。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>指定文化財の増加等に伴い、適切な管理運営のため事業の拡充が不可欠である。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023802	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(池田家墓所管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 令和10年度
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財 保護条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催 ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催(2回) ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業 (燈籠会、写真コンクール等)	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業 ・豪雨災害復旧事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	11,548	12,208	8,287	9,034	9,205
	直接経費 A	10,826	11,476	7,563	8,315	8,498
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	10,826	11,476	7,563	8,315	8,498	
人件費 B	722	732	724	719	707	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	600
			実績	700	700	0	500	0
	(指標の説明) 池田家墓所燈籠会等、池田家墓所を活用したイベントへの来場者数。基準値は27年度実績							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P193(教038)</p> <p>【事業の概要】 1 (公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が実施する国指定史跡鳥取藩主池田家墓所の管理運営・活用について、費用の一部を補助する。 2 (公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が実施する同史跡の保存修理事業について、費用の一部を補助する。 ◎管理事業(単県・市事業：県・市が各1/2の割合で負担) ◎保存修理事業(国庫事業：国1/2、県・市が各1/4の割合で負担)</p> <p>【事業の成果】 鳥取藩主池田家墓所の適切な管理・活用を進めることができた。 (翌年度繰越額 2,228千円 ため池改修工事について、関係機関との調整に時間を要したため)</p> <p>【今後の課題・方向性】 保存修理事業の完成に向けて着実に事業を進め、管理を適正に実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	117%	100%		71%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>コロナ禍のためイベント等が実施できず、また、保存修理工事については関係者との調整に時間を要したため一部繰越となった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>コロナ禍によりイベントを実施することができなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>保存修理事業は今後も継続する見込みであり、活用事業等については手法などを改善したうえで継続する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023902	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	上寺地遺跡管理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費		予算事業コード	01-09-04-05-16-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態 にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在14万6,132.99㎡の広さがあり、市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有地化を進めている。「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」に沿って、史跡内の環境保持と情報発信に努めるとともに史跡整備を進め、国内有数の弥生遺跡として貴重な史跡地内の市有地及び県有地については、史跡整備まで市及び県それぞれが除草・水路管理等を実施し、情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動している。全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指す。また、史跡整備については、発掘調査成果や
手段 (どうするのか)	報

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計・工事費等負担
事業費	年度別実績	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計・工事費等負担	
		①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計・工事費等負担
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,098	6,214	6,502	5,613	12,041	
	直接経費 A	3,932	4,018	4,329	3,456	9,920	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	6,800
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	3,932	4,018	4,329	3,456	3,120		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	2
	(指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数		実績	2	2	2	2	2
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421                  【10次総の施策体系】3302                  【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】                  1 国史跡青谷上寺地遺跡(指定面積は146,132.99平方メートル)の市有地部分の維持管理を行う。                  2 管理団体である鳥取県の実施する同史跡の保存整備事業について、土地所有面積に応じた費用を負担する。(全指定面積のうち36%)                  3 史跡の保存活用推進のため鳥取県と鳥取市を事務局として設立した青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による、史跡指定地内での田んぼアート、古代米栽培や料理講座、キャラクター募集等の活動を行う。</p> <p>【事業の成果】                  1 公園区域内及び周辺水路の除草作業等を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行うことができた。                  2 史跡保存活用協議会の管理運営事業に対して経費を半額負担した。                  3 管理団体である鳥取県の実施する同史跡の保存整備事業について、土地所有面積に応じた経費負担をした。</p> <p>【今後の課題・方向性】                  引き続き青谷上寺地遺跡の整備を県と共同で円滑に進める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおりに史跡の管理に努めた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	青谷上寺地遺跡の環境を目標どおりに保つことができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント                  (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>		

令和2年度より県との共同事業により青谷上寺地遺跡の保存整備事業に本格的に着手し、本事業は将来的には廃止されるが、整備事業開始に伴い、費用負担の増額が見込まれる。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取城跡保存修理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和32年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存 整備基本計画・文化財保護法
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費		予算事業コード	01-09-04-05-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①大手登城路の内、擬宝珠橋復元に着手した。 ②内堀の崩落した石垣を修理した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の擬宝珠橋復元工事を行った。 ②中ノ御門石垣修理に着手した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	280,594	334,919	361,274	297,260	204,352
	直接経費 A	273,375	327,600	354,031	290,070	190,210
	国・県	163,919	189,690	182,626	176,079	111,954
	地方債	56,400	104,700	134,300	95,000	60,700
その他	472	19,768	22,959	0	21	
一般財源	52,584	13,442	14,146	18,991	17,535	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	14,142	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%	目標	70
			実績	70	75	80	85	90
	(指標の説明) 大手登城路内の発掘調査の進捗率。							
2	大手登城路等石垣修理	%	目標	5	30	45	50	60
			実績	5	30	45	50	60
	(指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率。							
3	大手登城路復元整備事業	個	目標	1	1	2	2	2
			実績	1	1	1	1	2
	(指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建造物の整備工事数。							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-30-8422</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P194(教040)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 史跡鳥取城跡について、「史跡鳥取城跡保存整備基本計画」(平成17年度策定)に基づく復元整備事業等を実施する。</li> <li>2 史跡鳥取城跡の適切な保存管理を行う。</li> <li>3 史跡鳥取城跡の活用事業等を実施し、地域の歴史文化遺産保護について普及啓発を行う。</li> </ol> <p>【事業の成果】 平成30年度 擬宝珠橋が完成した。 令和元年度 引き続き中ノ御門周辺の整備等を行った。 令和2年度 中ノ御門表門の復元が完成した。引き続き中ノ御門周辺の整備を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、隣接地工事等に係る行政財産使用料</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%	100%	100%	100%
	2	大手登城路等石垣修理	100%	100%	100%	100%	100%
	3	大手登城路復元整備事業	100%	100%	50%	50%	100%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和9年度に太鼓御門の復元完成により第1期整備が完了するが、引き続き市民の期待の大きい二ノ丸三階櫓の復元整備や中世城郭遺構の整備・活用を視野に事業を拡充していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	024100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財調査事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財調査費		予算事業コード	01-09-04-05-11-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態 にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内で試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施
年度別実績	①試掘調査件数 10件 ・山手所在遺跡 ・湖山所在遺跡 ・青谷上寺地遺跡 ・亀井苴矩公墓所	①試掘調査件数 14件 ・会下・郡家遺跡 ・山根所在遺跡 ・布勢所在遺跡 ・曳田小寺遺跡 ほか ②土壌分析 1件 ・青谷上寺地遺跡	①試掘調査の実施 ・下段遺跡 ・大橋遺跡 ほか	①試掘調査の実施 ・睦逢所在遺跡 ・大橋遺跡 ・海士所在遺跡 ほか	①試掘調査の実施 ・青谷上寺地遺跡 ・良田所在遺跡 ・布勢所在遺跡 ほか	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	27,279	22,054	25,796	19,384	16,972
	直接経費 A	21,504	16,199	20,002	13,632	11,315
	直接経費の財源内訳					
	国・県	11,734	5,623	7,985	4,193	3,496
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	9,770	10,576	12,017	9,439	7,819	
人件費 B	5,775	5,855	5,794	5,752	5,657	
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18
			実績	10	14	15	13	12
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数							
2	開発事業との協議件数	件	目標	100	150	150	150	150
			実績	232	226	177	165	199
	(指標の説明) 開発事業との協議件数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P195(教041)</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡、良田所在遺跡など12か所で試掘調査を行い、199件の開発協議を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 各種開発事業に先立ち、遺跡の有無を確認するための発掘調査を実施し、開発事業との調整を図る必要がある。しかし埋蔵文化財を担当する文化財専門員の年齢に偏りがあり、高齢化しつつある状況である。また、試掘後の本調査を担当している(公財)鳥取市文化財団の埋蔵文化財センター職員も高齢化しており、将来的に業務に支障を来す状況である。また、収蔵庫も不足しており、センターの設備についても整備が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	試掘調査を実施した遺跡数	56%	140%	150%	130%	120%
	2	開発事業との協議件数	232%	151%	118%	110%	133%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	着実に事業を実施することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	開発協議前年より増加しているが試掘調査は前年並みである。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>		

適切な事業実施の方法や鳥取市埋蔵文化財センターの将来像、資料保管場所なども含めて検討する。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業費		予算事業コード	01-09-04-05-30-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態 にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開したりする場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①出土品の展示会 (博物館1回) ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業 ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 (地区公民館1箇所) ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業 (市内37校)	①出土品の展示会 (地区公民館1箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳) ③小学校への出前授業 (市内37校)	①出土品の展示会 (地区公民館2箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳 榑本廃寺跡) ③小学校への出前授業 (市内35校) ④記念物100年展 (巡回展 3か所)
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	3,254	2,537	4,862	6,451	10,507
	直接経費 A	1,088	341	2,689	4,294	8,386
	直接経費の財源内訳					
	国・県	793	0	2,015	1,675	1,688
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	295	341	674	2,619	6,698	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	発掘展の入場者数	人	目標	1000
	(指標の説明) 発掘展の入場者数		実績	4161	1000	1000	1000	50
2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	200	200	200	200	200
	(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数		実績	350	220	200	200	216
3	出前授業実施率	%	目標	100	100	100	100	100
	(指標の説明) 出前授業実施率		実績	79.5	84.1	84.1	79.5	70.5

## 5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421 【10次総の施策体系】3302 【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらい、文化財愛護の精神の醸成を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・小学生を対象に「こども考古学教室」を実施し、本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動を行った。 ・イベントに合わせて展示を行い、発掘調査やこれまでの研究成果の報告を行った。 ・史跡梶山古墳壁画の一般公開及び栃本廃寺跡の公開を行った。 ・体験用に土器パズルの作製を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 歴史文化基本構想の策定と合わせ、内容・対象の充実を図る。出前授業は市内全校での実施を目指すとともに、実施方法等を検討していく。</p>
-----------	---

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数	416%	100%	100%	100%	5%
	2	遺跡見学会の参加者数	175%	110%	100%	100%	108%
	3	出前授業実施率	80%	84%	84%	80%	71%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	コロナ禍のため展示会が開催できなかった。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	コロナ禍のため事業が実施できなかった。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	<small>小学校での出前授業、展示等については、効果は大きい職員負担も大きいので、実施方法の改善を検討する必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024301	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和51年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市仁風閣及び宝扇庵の設置及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施 の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	指定管理
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費		予算事業コード	01-09-04-05-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態にするために)	重要文化財建造物を含む施設の維持管理を行うとともに、文化財・文化観光施設としての活性化を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、文化財建造物の適正な管理と施設の円滑な管理運営を行い、各種展示・イベント等の活用事業を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③男子トイレの修繕	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震・修理工事の実施	
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③男子トイレの修繕	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震・修理工事の実施(修理計画作成)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	21,319	21,926	21,541	21,833	23,135	
	直接経費 A	19,153	19,730	19,368	19,676	21,014	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	278
一般財源	19,153	19,730	19,368	19,676	20,736		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	人	目標	37000	38000	39000
1	(指標の説明) 仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数			実績	39097	42578	37975	40401	21994
				満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	80	80	85
2	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合			実績	85	86	87	87	89
				目標	0	0	0	0	0
3	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
				目標	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正その②・P33(教007)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国指定重要文化財仁風閣の維持管理</li> <li>2. 仁風閣を活用した展示・イベントの実施による地域の歴史文化遺産の保護意識の啓発</li> </ol> <p>【事業の成果】 本市におけるシンボリック的存在として、文化財建造物を適正に管理・活用することができた。老朽化による部分的な破損等について、修繕等を適切に行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 建造物の老朽化が進行しているため、小修繕だけでなく、大規模な保存修理が必要である。令和5年を目途に修理工事の準備を進め、併せて保存活用計画を策定するなど今後さらなる活用を進めたい。</p> <p>※その他財源の諸収入は、建物等損害共済金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	106%	112%	97%	101%	54%
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	106%	108%	102%	102%	105%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>コロナ禍のため事業実施や集客に影響した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>令和6年度に一時休止する(文化財建造物の保存修理事業を実施するため、数年間休館)</p>		
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024302	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成5年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 の設置及び管理に関する条例、 鳥取市あおや郷土館の設置及 び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人		
実施 の 手段			0	0	運営方法	指定管理
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費			予算事業コード	01-09-04-05-32-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、地域の歴史文化を情報発信し、地域の活性化に資するとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	31,388	31,645	31,455	31,996	33,570
	直接経費 A	30,666	30,913	30,731	31,277	32,863
	国・県	4,505	4,386	3,961	3,820	3,745
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	12	12	12	11	17
一般財源	26,149	26,515	26,758	27,446	29,101	
人件費 B	722	732	724	719	707	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	目標	8000
	(指標の説明) 利用者数		実績	7975	8230	8678	11479	5215
2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	8500	9000	9500	10000
	(指標の説明) 利用者数		実績	8862	8425	9809	11341	8457
3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	60	60	65	65	65
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	60	64	87.4	85.9	86

## 5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421 【10次総の施策体系】3302 【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 1. 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館及びあおや郷土館の管理運営 2. 常設展示・特別展示・体験活動等を通じた地域の歴史文化遺産愛護の啓発育成</p> <p>【事業の成果】 指定管理施設として、下記の業務を実施した。 ○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団(平成28年度から5年間) ○業務の範囲：青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館の管理運営全般 展示館等の利用に関する業務 施設・設備の維持管理 企画展示等に関する業務</p> <p>【今後の課題・方向性】 あおや郷土館については山陰海岸ジオパークの拠点施設でもあり、鳥取市西部地域の拠点資料館として適切な管理運営を図る。老朽化する設備の更新、利用の促進や収蔵資料の保存などが課題である。 青谷上寺地遺跡展示館については、青谷上寺地遺跡整備の進捗により常設のガイダンス施設が整備されることから、将来的には閉館し施設の転用などを考慮する必要がある。</p>
-----------	--

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	100%	97%	96%	121%	52%
	2	あおや郷土館の利用者数	111%	99%	109%	119%	85%
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	100%	107%	134%	132%	132%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	コロナ禍のため集客事業は全般に影響を受けた。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	<small>青谷上寺地遺跡展示館については、県の青谷上寺地遺跡ガイダンス施設完成・開館に伴い、令和5年度末に閉館する予定。</small>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	024303	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び 管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態 にするために)	登録博物館として適正な維持・管理・運営を行い市民文化の向上に資するとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、調査研究・展示・体験活動等を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	123,631	125,832	169,447	260,809	252,143	
	直接経費 A	122,909	125,100	168,723	260,090	250,729	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	3,217
		地方債	0	0	0	123,900	104,100
		その他	57	68	0	85	5,418
一般財源	122,852	125,032	168,723	136,105	137,994		
人件費 B	722	732	724	719	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	21000	21500	22000
1	(指標の説明) 利用者数			実績	21009	33289	40342	31134	11605
				満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	55	55	60
2	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合			実績	49	51	77.5	56.4	62
				目標	0	0	0	0	0
3	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
				目標	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次：当初予算・P196(教043)        6月補正その②・P34(教010)</p> <p>【事業の概要】        1. 鳥取市歴史博物館の管理運営        2. 調査研究・常設展示・展覧会・イベント等の博物館活動を通じた地域の歴史文化遺産の保護意識の醸成と活用</p> <p>【事業の成果】        指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団        平成30年度：施設の適切な管理と、常設展示更新の基本設計を実施した。        令和元年度：施設の適切な管理と、常設展示更新の実施設計及び展示物の製作などを行った。        令和2年度：令和3年2月から3月にかけて休館し、常設展示のリニューアル工事を行った。あわせて特別展示室の照明機材の更新を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】        常設展示室は令和3年4月にリニューアルオープンし、学芸員によるギャラリートークなどソフト面も強化している。今後も本市の歴史・文化財・文化の調査研究、情報発信の拠点として活用を進めていく。</p> <p>※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金        ※その他財源の諸収入は、喫茶室光熱水費</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 鳥取市歴史博物館の利用者数	100%	155%	183%	138%	50%
	2 満足度調査の総合で良いと答えた割合	89%	93%	129%	94%	103%
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	コロナ禍のため年度目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	本市の歴史文化の調査研究・教育普及の中核施設として、教育普及部門などを充実させる。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024304	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成6年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-35-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の維持管理と有効活用を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の管理委託を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	平成31年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	令和2年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・イベント等の開催	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	45,444	45,555	50,637	49,409	47,619	
	直接経費 A	44,000	44,091	49,188	47,971	46,205	
	直接経費の財源内訳	国・県	301	360	3,068	333	357
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19	25	114	19	12
	一般財源	43,680	43,706	46,006	47,619	45,836	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	23000	23500	24000	24500	25000	
			実績	23774	23650	30084	38348	14246		
	(指標の説明) 利用者数利用者数									
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	65	65	70	70	70	
				実績	75	77	80	71	79	
(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正その②・P35（教011）</p> <p>【事業の概要】 1. 因幡万葉歴史館管理運営事業及び隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理 2. 企画展覧会等の実施</p> <p>【事業の成果】 万葉集だけでなく鳥取市の古代・中世に関する展示等を行い、教育普及や観光に貢献した。施設の維持修繕を適正に実施することができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 建造物や設備、常設展示の老朽化対策が課題である。 令和改元に伴う万葉集のゆかりの地として、また日本遺産認定に伴う麒麟獅子舞関連の展示や事業等、新しい要素も加味し、将来像を考えていく必要がある。 令和3年からは麒麟獅子舞関連事業として、展示と補助金交付関連事務を行う予定。</p> <p>※その他財源の使用料は、万葉歴史館使用料</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	103%	101%	125%	157%	57%
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	115%	118%	114%	101%	113%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	コロナ禍のため集客事業について目標を達成できなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

日本遺産の拠点施設として麒麟獅子舞等の保存活用の機能を強化する。